

あなたの作品は全国の学校で使われるかもしれません！

Programming Festivalは、学校で学んだ知識を、子どもたちの豊かな発想とプログラミング力によって新しい形に創るプログラミング大会です。学校で習った知識をゲームやアニメーションをつくることによってより理解を深め、主体的に深い学びにつながります。さらに、すべての作品は、全国の先生が自由に使えることによって、学ぶ側（生徒）の視点と発想から先生の授業作りの改善に役に立ちます。Programming Festivalはプログラミング技術を競う大会ではありません。プログラミングを通して、教育現場の課題を子どもたちと先生と一緒に解決していく大会です。大会を通して、子どもたちはプログラミングへの勉強意欲を刺激され、プログラミング学びの目標を立てることができます。先生は子どもたちの学びを新しい角度から確認することができ、子どもたちの作品を授業で使うことができます。子どもたちと先生の教え合う、学び合う新しい空間を創ることがわれわれの願いです。

応募要項

今年の科目設定： 国語

上記科目の教科内容から自由に制作内容を選んでください。Scratchを使って、楽しく勉強できるオリジナルのアニメーションまたはゲームを創ってください。制作内容は必ず現在の学年の教科内容でないといけない制限はありません。例えば、小学4年生が小学校2年生の教科内容を選んで作ってもいいです。中学生は小学校の教科内容を選んで作ってもいいです。ただし、応募部門は現在所属学年に応じて応募しなければなりません。

応募資格： 小中高生なら誰も参加できます

参加費： 無料

ソフト： **Scratch 2.0**

※作品の著作権、失格に関する注意事項を必ずオフィシャルサイトでご確認ください。

応募方法： 制作した作品ファイルをご用意ください。作品ファイルの最大サイズは2メガバイトとなります。作品に関する800文字以内の説明文をご用意ください。制作内容を選んだ理由、作品の特徴、操作方法などを説明してください。下記の応募専用サイトから必要項目を記入し、作品ファイルを送ってください。

締め切り 2018年11月30日（金）

オフィシャルサイトの専用応募フォームからご応募ください。

<https://programmingfestival.jp/>



ノミネート

大会実行委員会の委員により、全応募作品からノミネート作品15~20作を厳選します。

入賞

小中高の現役先生により、入賞作品10作が選ばれます。

授賞式

入賞作品の作者を授賞式へ招待。さらに入賞作品から以下の3つの賞を当日発表。

フェスト大賞

アイデア賞

デザイン賞

審査ポイント

アイデア・面白さ
シンプルさ・使いやすさ

※審査員は全員小中高校の先生です。
※先生が使いやすい形で制作することが入賞のコツかもしれません。

Programming Festival 2018

Programming Festival 実行委員会 主催